

O を原点とする座標平面上の放物線  $y = x^2 + 1$  を  $C$  とし、点  $(a, 2a)$  を  $P$  とする。

(1) 点  $P$  を通り、放物線  $C$  に接する直線の方程式を求めよう。

$C$  上の点  $(t, t^2 + 1)$  における接線の方程式は

$$y = \boxed{\text{ア}}tx - t^2 + \boxed{\text{イ}}$$

である。この直線が  $P$  を通るとすると、 $t$  は方程式

$$t^2 - \boxed{\text{ウ}}at + \boxed{\text{エ}}a - \boxed{\text{オ}} = 0$$

を満たすから、 $t = \boxed{\text{カ}}a - \boxed{\text{キ}}$ 、 $\boxed{\text{ク}}$  である。よって  $a \neq \boxed{\text{ケ}}$  のとき、 $P$  を通る  $C$  の接線は 2 本あり、それらの方程式は

$$y = (\boxed{\text{コ}}a - \boxed{\text{サ}})x - \boxed{\text{シ}}a^2 + \boxed{\text{ス}}a \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

と

$$y = \boxed{\text{セ}}x$$

である。

(2) (1) の方程式①で表される直線を  $l$  とする。 $l$  と  $y$  軸との交点を  $R(0, r)$  とすると、 $r = -\boxed{\text{シ}}a^2 + \boxed{\text{ス}}a$  である。 $r > 0$  となるのは、 $\boxed{\text{ソ}} < a < \boxed{\text{タ}}$  のときであり、このとき、三角形  $OPR$  の面積  $S$  は

$$S = \boxed{\text{チ}} \left( a^{\boxed{\text{ツ}}} - a^{\boxed{\text{テ}}} \right)$$

となる。

$\boxed{\text{ソ}} < a < \boxed{\text{タ}}$  のとき、 $S$  の増減を調べると、 $S$  は  $a = \frac{\boxed{\text{ト}}}{\boxed{\text{ナ}}}$  で最大

値  $\frac{\boxed{\text{ニ}}}{\boxed{\text{ヌネ}}}$  をとることがわかる。

(3)  $\boxed{\text{ソ}} < a < \boxed{\text{タ}}$  のとき、放物線  $C$  と (2) の直線  $l$  および 2 直線  $x = 0$ 、 $x = a$  で囲まれた図形の面積を  $T$  とすると

$$T = \frac{\boxed{\text{ノ}}}{\boxed{\text{ハ}}}a^3 - \boxed{\text{ヒ}}a^2 + \boxed{\text{フ}}$$

である。 $\frac{\boxed{\text{ト}}}{\boxed{\text{ナ}}} \leq a < \boxed{\text{タ}}$  の範囲において、 $T$  は  $\boxed{\text{ヘ}}$ 、 $\boxed{\text{ヘ}}$  に当てはまるものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- |         |                    |
|---------|--------------------|
| ① 減少する  | ① 極小値をとるが、極大値はとらない |
| ② 増加する  | ③ 極大値をとるが、極小値はとらない |
| ④ 一定である | ⑤ 極小値と極大値の両方をとる    |

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ
2	1	2	2	1	2	1	1	1	4	2	4	4	2	0	1

チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ
2	2	3	2	3	8	27	7	3	3	a	2

## 【チェック・チェック】

まずは、曲線外の点を通る2本の接線を求めます。次は、2本の接線とy軸で囲まれた三角形の面積、曲線と接線およびy軸と平行な2本の直線で囲まれた図形の面積を求めます。どの部分の面積を求めているのかを、図を描き確認しながら計算していきましょう。

### 【解答】

(1)  $C: y = x^2 + 1$  上の点  $(t, t^2 + 1)$  における接線の方程式は

$$y = 2t(x - t) + t^2 + 1$$

$$\therefore y = \boxed{2}tx - t^2 + \boxed{1} \quad \dots\dots (\text{ア, イの答})$$

である。この直線が  $P(a, 2a)$  を通るとすると、 $t$  は方程式

$$2a = 2at - t^2 + 1$$

$$t^2 - \boxed{2}at + \boxed{2}a - \boxed{1} = 0 \quad \dots\dots (\text{ウ～オの答})$$

$$(t - 2a + 1)(t - 1) = 0$$

を満たすから

$$t = \boxed{2}a - \boxed{1}, \quad \boxed{1} \quad \dots\dots (\text{カ～クの答})$$

である。

$2a - 1 = 1$  となるのは  $a = 1$  のときであるから

$$a \neq \boxed{1} \quad \dots\dots (\text{ケの答})$$

のとき、 $P$  を通る  $C$  の接線は2本あり、それらの方程式は

$$y = 2(2a - 1)x - (2a - 1)^2 + 1$$

$$\therefore y = (\boxed{4}a - \boxed{2})x - \boxed{4}a^2 + \boxed{4}a \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

$\dots\dots (\text{コ～スの答})$

と

$$y = \boxed{2}x \quad \dots\dots (\text{セの答})$$

である。

(2) (1) の方程式①で表される直線を  $l$  とする。 $l$  と  $y$  軸との交点を  $R(0, r)$  とすると

$$r = -4a^2 + 4a$$

である。 $r > 0$  となるのは

$$-4a^2 + 4a > 0$$

$$-4a(a - 1) > 0$$

$$\boxed{0} < a < \boxed{1} \quad \dots\dots (\text{ソ, タの答})$$

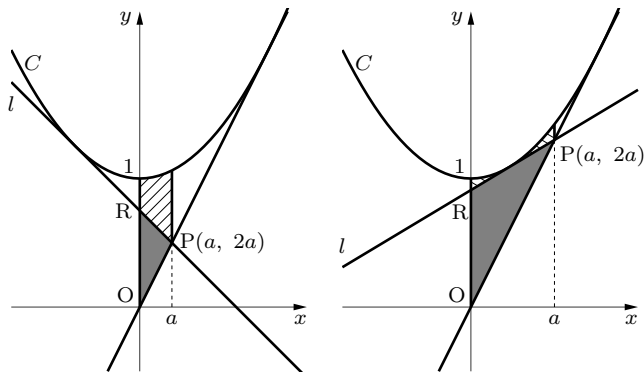
のときであり、このとき、三角形  $OPR$  の面積  $S$  は

←  $y = f(x)$  上の点  $(t, f(t))$  における接線の方程式は

$$y = f'(t)(x - t) + f(t)$$

である。

←  $2a - 1 = 1$  のとき、2本の接線は重なる。



← C と l の接点が y 軸の左側、右側のどちらにあっても S, T のとり方に影響しない。

$$S = \frac{1}{2}(-4a^2 + 4a) \cdot a$$

$$= \boxed{2} \left( a^{\boxed{2}} - a^{\boxed{3}} \right) \quad \dots\dots (\text{チ}\sim\text{テの答})$$

←  $S = \frac{1}{2}OR \cdot (P \text{ の } x \text{ 座標})$

となる。

$$S' = 2(2a - 3a^2) = 2a(2 - 3a)$$

$0 < a < 1$  のとき、S の増減を調べると

a	(0)	...	$\frac{2}{3}$	...	(1)
S'	(0)	+	0	-	
S		↗		↘	

← 増減表をかこう。

増減表より、S は  $a = \frac{\boxed{2}}{\boxed{3}}$  …… (ト, ナの答)

で最大値

$$2 \left\{ \left( \frac{2}{3} \right)^2 - \left( \frac{2}{3} \right)^3 \right\} = \frac{\boxed{8}}{\boxed{27}} \quad \dots\dots (\text{ニ, ヌネの答})$$

をとる。

(3)  $0 < a < 1$  のとき、斜線部分の面積 T は

$$T = \int_0^a (x^2 + 1) dx - \frac{1}{2} \{ (-4a^2 + 4a) + 2a \} \cdot a$$

$$= \left[ \frac{x^3}{3} + x \right]_0^a - (-2a^3 + 3a^2)$$

$$= \frac{\boxed{7}}{\boxed{3}} a^3 - \boxed{3} a^2 + \boxed{a} \quad \dots\dots (\text{ノ}\sim\text{フの答})$$

← 曲線の下側から台形を除く。

である。

$$T' = 7a^2 - 6a + 1 = 7 \left( a - \frac{3}{7} \right)^2 - \frac{2}{7}$$

← T の増減は導関数 T' の符号により決まる。

軸の方程式  $a = \frac{3}{7} (< \frac{2}{3})$  より、 $\frac{2}{3} \leq a < 1$  の範囲において、T' は単調増加であり

$$T'_{a=\frac{2}{3}} = 7 \left( \frac{2}{3} \right)^2 - 6 \cdot \frac{2}{3} + 1 = \frac{28}{9} - 3 = \frac{1}{9} > 0$$

← T' の  $a = \frac{2}{3}$  における符号を調べる。

である。

よって、 $\frac{2}{3} \leq a < 1$  の範囲において、 $T' > 0$  であり、T は増加

する.  $\square$  に当てはまるものは  $\square$  **2** である. …… (への答)

- $T' = 0$  となる  $a$  の値は  $a = \frac{3 \pm \sqrt{2}}{7}$  であり

$$\begin{aligned} \frac{2}{3} - \frac{3 + \sqrt{2}}{7} &= \frac{14 - (9 + 3\sqrt{2})}{21} = \frac{5 - 3\sqrt{2}}{21} \\ &= \frac{\sqrt{25} - \sqrt{18}}{21} > 0 \end{aligned}$$

であるから,  $\frac{2}{3} \leq a < 1$  の範囲において,  $T' > 0$  であり,  $T$  は増加する.

←  $T'$  の符号の変わり目が  $\frac{2}{3} \leq x < 1$  の範囲にあるか否かを調べるために, まずは  $\frac{3 + \sqrt{2}}{7}$  と  $\frac{2}{3}$  の大小を調べる.